

東久留米市立西中学校 ハンドボール部  
第16回春の全国中学生ハンドボール選手権大会 第3位

【1回戦】

東久留米市立西中学校(東京都) 43  $\begin{matrix} 23-5 \\ 20-14 \end{matrix}$  19 徳島市立城東中学校(徳島県)

【2回戦】

東久留米市立西中学校(東京都) 35  $\begin{matrix} 16-9 \\ 19-9 \end{matrix}$  18 福井市立光陽中学校(福井県)

【3回戦】

東久留米市立西中学校(東京都) 19  $\begin{matrix} 7-12 \\ 12-2 \end{matrix}$  14 ブレスト名古屋 Jr.ハンドボールクラブ  
(愛知県)

【準々決勝】

東久留米市立西中学校(東京都) 39  $\begin{matrix} 19-9 \\ 20-11 \end{matrix}$  20 富岡市立西中学校(群馬県)

【準決勝】

東久留米市立西中学校(東京都) 23  $\begin{matrix} 13-15 \\ 10-10 \end{matrix}$  25 氷見市立北部中学校(富山県)

今大会を通じて、ハンドボールの戦術や技術的なものは全国でもトップと自負できるほどの内容であり、前半で試合を決める試合が多くありました。3回戦のブレスト名古屋は今大会の優勝候補と言われていたチームであり、前半は苦戦を強いられました。しかし、相手のストロングポイントを出させないようなディフェンスと相手のウィークポイントをつくオフENSEを行っていこうと修正を重ねることや、選手の気迫も十分に発揮することもあって、勝利をすることができました。今大会で試合の中で改善していくという修正力を身に付けたことは大きな財産となりました。

準決勝の氷見北部は今大会優勝したチームであり、相手のゴールキーパーに何度もシュートをはじかれたり、エースプレイヤーの個人能力の高さに苦しめられたりしましたが、チームとしては最後まであきらめず戦いきることができました。

男子も全国で第3位という目標としている結果を出せたことは大いに評価できることではありますが、日本一になった女子チームや、日本一まであと少しだったということも含め、日本一になりたいと改めてチームの目標を決めました。夏に向けて、ハンドボールの技術的側面だけでなく精神面の成長も図り、真の強さを備えもったチームになっていきたいと思ひます。応援ありがとうございました。